

「東近江市過疎地域持続的発展計画（素案）」に対する御意見

番号	ページ	行番号	計画（案）記載内容	意見等	対応
1	2	27行	「鈴鹿山脈から続く山地が大部分を占めており、小規模な集落が点在している。」	この書きぶりでは、小規模な集落は鈴鹿山脈ではない山地に点在していると読み取れる。 実際には鈴鹿山脈の中に多くの集落が存在しているため、記載の再検討が必要である。	「鈴鹿山脈とそれに続く山地が大部分を占めており、小規模な集落が点在している。」に修正します。
2	2	28行	「若年層の流出」	「若年層の都市部への流出」 若年層がどこへ流出しているかを記載する必要がある。	都市部への流出だけでなく、市内の他地域へ流出していることも考えられるため、現状のとおりとします。
3	3	7行	「本市の地域資源や特徴を最大限にいかし」	まさにそのとおりであり、東近江市全域に存在する多様性に富む地域資源やその特徴を大切に磨き上げいかすことが最も重要である。	御意見は各課に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。
4	14	12行	「多面的な機能を維持する」	「多面的な機能を活用する」 森林資源の有効利用や林業経営の安定を図るためには、多面的な機能を活用するための適正管理をすることで、最終的に維持につながる。	御指摘のとおり修正します。
5	14	21行	「経営支援に加え起業や」	「経営支援に加え、起業や」 読点の追加	御指摘のとおり修正します。
6	33	9行	「景観」	「原風景」 東近江市で推進しているエコツーリズム推進全体構想において、原風景を将来世代に継承することを目的としており、「原風景」が適当である。	P2 7行目から8行目 「自然と人の暮らしや生業が調和した森里川湖の原風景を感じることができる地域である。」に修正します。
7			「現況と問題点」と「その対策」	「現況と問題点」と「その対策」は合致しているとわかりやすいのではないかと	御指摘のとおり修正します。
8	15	12行	「多様な担い手の確保や育成」	「現況と問題点」と同一であり、対策の内容としては不十分ではないかと。	現状と問題点の記載を整理し、「その対策」については現状のとおりとします。

番号	ページ	行番号	計画（案）記載内容	意見等	対応
9	13 14	13行 1行	「あぐりステーション」の支援 「道の駅」の機能強化	現況と問題点に挙げているが、対策では触れていないのはなぜか。	P15 13行 「地産地消の推進とその拠点となる道の駅の機能強化や施設の長寿命化、地域内流通の仕組みづくり」に修正します。
10	15	25行	「その対策」	14ページ15行から18行の現況と問題点に対する対策の記載が不足しているのではないかと。 「買い物弱者」への対応は重要課題ではないかと。 他の項目においても同様でもあり整合性を図ってはどうか。	P15 26行 「安心して買い物ができる環境づくりや」を追加します。
11	18	17行	「情報通信サービスの高度化を進め」の記載	18ページ7行以下の内容に対する対策としては内容が包括過ぎて不十分ではないかと。	P18 17行から20行 「安定的な情報通信環境の維持、確保を図るとともに、情報通信サービスの高度化を進め、デジタル技術を活用したテレワーク環境づくりや観光施設等における公衆無線LANの強化などデジタルを活用した地域活性化を図る。」に修正します。
12	23	3行	エ 防災	24ページ25行26行の内容に対する記載がない。	P23 4行から5行 「災害を未然に防止するためには、危険個所の改修を早急に進める必要がある。」を追加します。
13	25	10行	ク ごみ処理施設	23ページ24行から24ページ2行の現況と問題点に対する対策の記載が不足しているのではないかと。	P25 11行から14行 「ごみ排出量の削減とリサイクル率の向上への取組を行うとともに、発生する一般廃棄物を安定的・継続的に処理し、生活環境の保全と、公衆衛生の向上を図るため、計画的な収集運搬やごみ処理施設の更新、改修等を進める。」に修正します。

番号	ページ	行番号	計画（案）記載内容	意見等	対応
14	28			28 ページ 14 行で障害福祉プランが記載されているが 27 ページにその記載がないのはなぜか。	P28 14 行から 20 行 「令和 3 年度に東近江市障害福祉プランを策定し、障害者施策を推進している。障害者手帳所有者は年々増加しており、障害のある人もない人も、誰もが自らの意思を尊重し、またお互いにその人らしさを認め合いながら、育つこと、学ぶこと、楽しむこと、働くこと、暮らすことなどライフステージのあらゆる場面を通じて、共に生きることができる共生社会を実現していくことが必要である。」を追加します。
15	29	15 行	29 ページ 15 行「人材確保」対策について	29 ページ 19 行以下の記載では不十分ではないか。	P29 19 行から 20 行 「安定的な医療提供体制の確保」を追加します。
16	30	22 行	「人間関係の固定化等」対策について	31 ページ 4 行以下に記載されていない。	P31 4 行から 5 行 「今後の児童生徒の状況により、学校施設の計画的な整備や通学区域のあり方等を検討する。」を追加します。
17	31	5 行・6 行	遠距離通学の児童生徒に対して、引き続き通学バスの運行や路線バス通学に対する支援を行う。	記載は不要ではないか。	引続き取り組む事業として記載しており、現状のとおりとします。
18	32	4 行	「まちづくり協議会等を中心とした」	「まちづくり協議会等を中心とした」という表現を入れた理由は何か。「地域住民、まちづくり協議会、自治会及び各種活動団体が協力して」ではだめなのか。	御指摘のとおり修正します。
19	32 32	1 行 9 行・10 行	「持続可能な集落づくり」 「持続可能な地域コミュニティの確立」	表現の違いは何か	地域コミュニティは小学校区やまちづくり協議会の区域など集落より大きなエリアを指します。集落単独では維持が困難になってきている中で、地域コミュニティ内で集落間連携等により助け合い集落を維持していこうという考え方で記載しています。

番号	ページ	行番号	計画（案）記載内容	意見等	対応
20	33	8行	「 <u>自然歴史</u> 」	「自然、歴史」か。	御指摘のとおり修正します。
21	27 28	9行 11行	「地域の实情に応じた・・・」 「基本方針7 地域を基盤とする・・・」	全市ではもちろんだが、過疎地域に対しては特に配慮が必要だと思う。	御意見は各課に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。
22	33	12行	価値づけを行い、地域住民と	子どもを含む地域住民 地域文化、自然を子ども達に、この地でしか出来ない取組として伝える事が大事だと考える。	御意見は各課に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。
23	1	6行から9行	過疎地域指定	過疎の問題は「永源寺地域」・「愛東地域」が過疎地域に指定されたのであって。今後、東近江市全体が同様の事象となって行く事が想像され、東近江市全体のこととしてとらえる必要があると思います。	御指摘のとおりであり、 P9 1行 「4 地域の持続的発展の基本方針」内で、「今回過疎地域に指定された永源寺地域と愛東地域だけではなく、市内全体で高齢化が進んでいることから、市内他地域との事業調整を図りながら、市全体で均衡ある発展を図っていく必要がある。」と記載しています。 P9 12行 「5 地域の持続的発展のための基本目標」内で、「地域の持続的発展を目指すためには、全ての人々が安心して暮らし続けることができる地域社会づくりを行うことが重要である。については、永源寺地域・愛東地域だけではなく市全域に係る課題として捉え、本市の持続的発展のための基本目標は、東近江市人口ビジョンの将来人口の見通しを準用し、令和7年の目標人口を110,326人とする。」と記載しています。

番号	ページ	行番号	計画（案）記載内容	意見等	対応
24	3	1行・2行	就職先がないため地域外に流出	最終的に記載のとおりであるが、その前に高校へは90%程度(想像)滋賀県内の高校へ進学するが、その後の大学への進学が、通学範囲内に少ないことも要因なのか、大阪や東京の大学へ進学すれば、就職先がないので帰省しなくなる。就職した地域で家庭を持てば帰ってくる可能性は非常に少なくなると思われる。	御意見は各課に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。
25	3	6行	(3) 社会経済的発展の方向	農業については東近江アグリステーションや道の駅などでの販売により、少しは知名度が上がったと思うが労働人口の減少と高齢化により今後は非常に難しくなってくると思われる。観光についても観光から定住に結び付けて行ければ良いと思う。折角、来ていただいた方に自然などを生かし住んでみたいなどと思って頂けるような仕掛けがあればと思う。	御意見は各課に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。
26	9	17行	令和7年の目標人口110,326人	根拠はなにか。	東近江市人口ビジョンで将来人口の見通しをもとに、その人口を目標人口として設定しています。その中間年である2025年の推計人口が110,326人であり、その数値を目標人口として設定しています。
28	16	4行	観光	現代のアウトドア（キャンプ等）の流行を活かし、環境整備し、商業化誘致を行い、人の交流を促す	P16 8行目から10行目 エ 観光の内で 「エコツアーの実施やアウトドアライフの推進に必要な環境整備等受入体制の充実、幅広い情報発信、滞在時間を増やす取組など交流人口、関係人口の増加に努める」しており、現状のとおりとします。
29	18	15行	電気通信施設	様々な施設インフラ整備はできてきているがそれを使用する人への整備ができていない。高齢化社会であり、その人たちが簡単に使用できるよう、コミュニティーを活かし教育セミナー等を行う	D X推進については、現在D X推進計画を策定中であり、スマホ教室の開催など検討しているところです。本計画への記載は見送りますが、情報化に係るソフト事業については、一般施策の中で取り組んでいきます。

番号	ページ	行番号	計画（案）記載内容	意見等	対応
27	26	6行	子育て支援	<p>子供をつくれる環境を作る 出産・産後の支援施策はあるが、その間の施策が 中々見えてこない。 見える化とその具体的施策の施行</p>	<p>子どもを安心して産み育てられるよう、結婚から妊娠・出産・子育てに係る取組については、子ども子育て支援事業計画を策定し、取り組みを進めています。本計画では、子ども子育て支援事業計画に基づき進めることとしており、施策が大変多岐にわたるため具体的な施策は記載していませんが、いただいた御意見の取組については、切れ目ない支援を行っていくこととしていく所です。</p>
30	12.	1行から	第2章 過疎対策	<p>各項目について現状と問題点やその対策について記載されています。すべてを含めた対応策により地域がよくなり転入者が増加することに人口増加につながることは理解できます。</p> <p>例えば、先日NHKで北海道の過疎地において、自然の良さをPRし保育園で2週間子供が保育体験を実施。コロナの影響で保護者の仕事もテレワークになっているので、家族全員が引っ越してきて体験している様子が放送されていました。永源寺や愛東の自然や人柄の良さに長期に亘って触れてもらい、いつかは住んでみたいと思ってもらうことが必要ではないかと思えます。</p> <p>すぐには人口増加に結びつかないが、長い目で見れば永住に繋がるのではないのでしょうか。</p> <p>観光については、分散型ホテルなどの取り組みもあると聞いていますが、人に来てもらう事、住んでみたいと思ってもらえることが必要ではないのでしょうか。</p> <p>また、日本全国に過疎地は沢山あると思えます。その中での成功事例があれば知りたいと思えます。</p>	<p>御意見は各課に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

番号	ページ	行番号	計画（案）記載内容	意見等	対応
				冒頭に記載しましたが、このことは永源寺地区ならびに愛東地区に限らず東近江市全体の事であるという認識、危機感を持たなければならないと思います。	
31	26	6行	6 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上並びに増進	<p>地域（過疎地域）に応じた子育ての環境に関するニーズ調査はあるのか。</p> <p>※例えば永源寺地区で“産み→育てる”ためには・・・の様な“住”をふまえた子育て環境を探る。</p> <p>（過疎地域）の特産や特長をいかした高齢者や子どもが集まりやすい活動はあるのか。</p> <p>介護予防推進のための施策は。 元気な高齢者の心身の健康を継続していくための場所、活動作り必要では。（“住”に近い場所に）</p>	<p>こども施策については、子ども・子育て支援事業計画の策定の際に、ニーズ調査を実施しています。ただし、市全域の調査のため過疎地域の回答数は限られており、地域ごとの分析はできませんが、回答を参考に取り組んでいます。</p> <p>特産や特長をいかした集まりやすい活動については、十分把握できておりませんが各地域で介護予防も含めて居場所づくりが行われています。</p> <p>子ども施策、高齢者施策とも、それぞれ個別計画に基づき相談支援や居場所づくりを行うこととしています。</p> <p>御意見は各課に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
32				<p>子育て環境を支える“保育士”不足は深刻です。保育現場の負担を軽減する必要があります。</p> <p>例えば、国の基準の定数より下げ、ゆとりをもって働ける場にしていく事がいります。</p> <p>新任者の研修を軽減する、保育者を育てる立場の職員にゆとりが持てるように・・・など</p> <p>“保育職離れ”保育者がいなくなる状況に危機感を感じます。</p>	御意見は各課に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。

番号	ページ	行番号	計画（案）記載内容	意見等	対応
33	12	16行から18行	「地域おこし協力隊等の活用により外部人材を積極的に登用し、地域活性化を図るとともに新たな地域の担い手の確保・育成を推進する。」	「地域おこし協力隊等の活用により外部人材を積極的に登用し、地域民とともに地域活性化を図るとともに新たな地域連携の担い手の確保・育成を推進する。」 協力隊だけの力に期待するのではなく、仕掛人として地域の人がいかに働きかけ、連携を図っていけるかが大事だとおもう。	「地域おこし協力隊の活用等外部人材を積極的に登用し、地域住民との連携により地域活性化を図るとともに、新たな地域の担い手の確保・育成を推進する。」に修正します。
34	14	1行から3行	「地域活性化を進めていく拠点として施設の長寿命化とともに更なる機能強化を図る必要がある。」	「地域活性化を進めていく拠点として施設の長寿命化とともに更なる地域情報発信拠点としての機能強化を図る必要がある。」 他からのお客・若者・家族連れ等が多く来る利点をSNS等も取り入れ、情報を他に広く発信できる機能を考えたいから。	P15 13行から14行 「その対策」に「その拠点となる道の駅の長寿命化や機能強化、」を追加します。 P14 1行から3行 「現状と問題点」の内容を整理しました。
35	14	19行から21行	「事業者の高齢化や後継者不足による廃業が進んでいることから、事業継承への支援や既存企業等へ競争力の強化などの経営支援に加え・・・」	「事業者の高齢化や後継者不足による廃業が進んでいることから、高齢者雇用推進補助金制度など事業継承への支援や既存企業等へ競争力の強化などの経営支援に加え・・・」 地域にはまだまだ力と元気のある高齢者が多く残っている。 企業としては、難しいかもしれないが、各個人事業者にとっては力強い応援となるので、市からどんどん声をかけていってもらえるとよいと思います。	具体的な補助金制度のため、現状のとおりとします。 御意見は各課に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。
36	4	13行	「令和7年」	「令和27年」の間違いでないか。	御指摘のとおり修正します。
37	12		移住について	移住人口をどの様にして増やせていくか。移住のメリットを具体的に肌身感覚で感じてもらう施策を講じるべきでは。例えば 移住後5年間の住民税の減免又は免除等。生活するうえで直接的にメリットを感じる事が大切。	P12 14行 「その対策」に「効果的な」を追加します。 御意見は各課に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。

番号	ページ	行番号	計画（案）記載内容	意見等	対応
38	15	10 行以降	産業の振興の対策について	<p>（農業）</p> <p>アグリステーションの取り組みをもっと地元を広げべく市場機能との連携も検討すべきではないでしょうか。また過疎地域に新規就農者を招くための税制面での優遇も検討すべきと思います。</p> <p>（商工業）</p> <p>問題点の買い物弱者について</p> <p>全ての買い物弱者対策を完璧にすることは不可能と思う。その対策として移動販売車が考えられる。民間の移動販売車の継続に対する行政支援がどこまで出来ているのか。またこれに頼っても限界があり、過疎地域からの買い物に対する移動手段の支援も必要。特に高齢者の足の確保の支援が必要。</p> <p>既存企業も自然淘汰される。それに代わる進出企業を迎えないといけない。企業が進出するメリットの具体策が必要。例えば税制面での優遇。</p> <p>例えば I T 企業の進出を促進できないか。物流機能が少し不便でも I T 企業なら問題も少ない、そのための環境整備も必要。</p> <p>（観光について）</p> <p>山間地への観光客の呼び込みに、宿泊施設の拡充も必要。特に登山者に対しては低価格も必要条件になってくる。</p>	<p>御意見は各課に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>P 15 26 行</p> <p>「安心して買い物ができる環境づくりや、」を追加します。</p> <p>P 17 2 行</p> <p>「(4) 産業振興促進事項」を記載することにより、製造業、情報サービス業等、農林水産物等販売業及び旅館業の割増償却などの制度を活用することができるようになります。</p> <p>P 16 9 行</p> <p>「滞在時間を増やす取組など」を追加します。</p>
39	19	6 行	交通整備について	<p>過疎地域に住んでいる高校生が通学する場合、交通機能が充実した地域に比べての負担度は大きい。特に近江鉄道の利用を考えると現状 高額になっていると言わざるを得ない。</p> <p>そんな生徒への支援も必要。</p>	<p>市域全体で考える必要もあることから、現状どおりとします。</p> <p>御意見は各課に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

番号	ページ	行番号	計画（案）記載内容	意見等	対応
40	23	18行	生活環境について	<p>（公園施設）</p> <p>公園遊具は常日頃 使い続けている状態であればどんな地域であっても問題はない。</p> <p>しかし子ども人口が少ない地域の場合、遊具が汚れていて使われなくなり、遊具が活かされているとは言い難い。またその点検を地元自治会などに任せているだけでは十分な点検が行われていない可能性がある。使用頻度の低い遊具や自治会管理の遊具の確実な点検方法の確立が必要、そうすることで子育て世帯にとって住みよい街に繋がると思う。</p> <p>全体的に、過疎地域であれば高齢化率も自然と高くなる。そうなると活気も徐々に影が薄くなっていく。そうなると若い世代の流出へと繋がる。悪循環が生じている。</p> <p>若い世代が住みたい街にするためには、もっと目に見える形での支援が必要ではないだろうか。短期で結果が生まれてくるものではないので、長期に渡る施策が必要と考える。</p> <p>そうすることで東近江全体への波及効果が生まれてくるのではないのでしょうか。</p>	御意見は各課に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。

番号	ページ	行番号	意見等	対応
41			<p>地区の特徴</p> <p>永源寺</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部の中山間地域にあって、JR等の鉄道からは距離がある。 ・高速道路からは適度な距離である。 ・石樽トンネルと国道の改良工事で、今後交通の要衝となる可能性がある。 <ul style="list-style-type: none"> → しかし、物流としては限定されるかも（大消費拠点からは距離がある。） ・土地や建物に対する規制が緩く、開発などを進めやすい環境にある。 <ul style="list-style-type: none"> → 中山間地でできる開発 ・山林の境界と所有者の整理 <ul style="list-style-type: none"> → 山林・産地の活用 <p>愛東</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部の中山間地域にあって、JR等の鉄道からは距離がある。 ・高速道路からは適度な距離である。 ・農振区域が軒下迄設定されている。 <ul style="list-style-type: none"> → 開発がとても厳しい。 → 農業を守るのか、農村を守るのかの原点に立ち、農振区域の除外変更を行う。 <p>住みたいなと住み続けたいと思う環境の整備</p> <p>集中投下をする</p> <p>市域全体の均衡ある発展は理念としつつ、特化した地域を設定することにより、そこから時間を掛けて他地域への波及を図る。</p> <p>この地で、やり甲斐のある職場がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> → 高速光ブロードバンドを利用して、企業誘致 <ul style="list-style-type: none"> ・ワーケーション対応事業所 ・物流倉庫 ・ドローン免許養成所 ・自動運転研究所 ・航空系機器の研究・開発 ・EV系機器の研究・製造 	<p>提案のあった施策については、おおむね「その対策」の大きな枠組みの中で記載しており現状のとおりとします。</p> <p>農振除外等の課題や細部の取組についての御意見は、各課に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: right;">次ページへ続く</p>

番号	ページ	行番号	意見等	対応
			<p>→ 高速光ブロードバンドの農業利用（5G）・・・遠隔監視、遠隔制御</p> <ul style="list-style-type: none"> ・牛、鳥、豚、花等の飼育管理 ・水稻の水や肥培管理 ・自動耕耘、自動作付け、自動収穫 <p>住みたいと思える環境である。</p> <p>→ 宅地、貸家、タウン、団地の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングモール等がある。 ・とても美味しい蕎麦がある。 ・こだわりのチーズがある。 ・その他、こだわりの食材や食事ができる。 <p>楽しい場所がある。</p> <p>→ 適度な距離と時間でリゾートに行ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市公園、映画、トレーニング（女性、高齢者）ジム、ボート、テニス、ゴルフ、ボウリング、スキー <p>普段も楽しめる場所がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ、登山、クライミング、シャワークライミング、沢登り、キャニオニング、サバイバル、水泳、遊園地・・・・・・・・ <p>交通アクセス</p> <p>→ 八日市駅、能登川駅へ直通シャトルバス運行 スマホで運行状況確認及び乗車予約、料金確認 ICカード決済</p> <p>などの整備や仕掛けをつくってはどうか。</p>	
42			<p>過疎地域においては、自然環境に恵まれていることが財産であろうと思います。環境保全をふまえた観光産業の取組みを様々な方向や発想で域内の若者に関わって頂けると良いのではと思います。</p>	<p>P16 8行</p> <p>「エコツアーの実施」に取り組むとしており、現状のとおりとします。</p> <p>御意見は各課に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

番号	ページ	行番号	意見等	対応
			<p>政策提案：過疎に悩む小椋谷一帯の再開発にむけて</p> <p>問題の所在 蛭谷町・君ヶ畑町は、まさに限界を超えた集落である。しかし、その歴史は古く、わが国の木地師文化の発祥地として広く知られている。木地師文化の伝統を継承していくためには、木地職人の居住が欠かせない。</p> <p>悠久の歴史と伝統をもつ木地師文化は、東近江市が有する極めて重要な地域資源である。過疎化が進みその存続が危ぶまれる小椋谷の持続的発展と活性化を図るためには、これら地域資源の有効活用が求められる。</p> <p>①木地師山のこの家の利活用促進 蛭谷町に所在する「木地師山のこの家」は、老朽化、耐振性、空調の不備など多くの課題を抱え、活用頻度が少ないのが現状である。リニューアルして、利便性の向上をはかることによって、広く市民の暮らしに役立てることができると思われる。</p> <p>リニューアルプラン ・100人ほどが宿泊できる施設としてリニューアルする。</p> <p>想定される利活用について ・各種研修会・研究会で利用 官公庁職員・企業の社員の研修、学会や研究会、講演会の開催など ・学校教育における体験活動の場として整備（自然体験や木育活動、その指導者育成） ・高等教育機関のサテライトキャンパスとして活用 ・高等学校や大学の文化系サークルの合宿場として提供 ・鈴鹿10座、エコツーリズムの拠点として利用</p> <p>期待させる効果 ・流入人口の増加は、地域の雇用創出や活性化をもたらす。 ・リピータが期待できる。</p> <p style="text-align: right;">次ページへ続く</p>	<p>P34 表内 事業計画に 2 過疎地域持続的発展特別事業 地域文化振興施設 「木地師やまの子の家管理運営事業」 を追加し、御意見は各課に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

番号	ページ	行番号	意見等	対応
			<p>②木地師村構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木地師の工房の設置と木地職人の育成 <p>蛭谷：工房長屋（住宅兼工房）の設置（3軒ほど）、ロクロ体験が可能な施設 君ヶ畑：古民家を活用した木地師工房の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古民家の利活用 <p>短期～中期の滞在が可能な施設として整備（QOL, スローライフの拠点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の振興 <ul style="list-style-type: none"> 木地師・惟喬親王伝承に関わる史跡の整備（看板の設置）、パンフレットの製作 木地師文化の調査研究への助成（研究会開催の経費、調査の経費、書籍購入費） 小椋谷にのこる伝統文化の調査・記録 デジタル・アーカイブ化 例：祭礼、食文化、芸能など <ul style="list-style-type: none"> ・期待される効果 <ul style="list-style-type: none"> 移住人口の増加、地域の活性化、伝統文化（伝統産業）の保存と活用 	<p>P33 17行</p> <p>「その対策」で、地域の歴史文化については「地域住民と協働で拠点施設を整備するなど保存・継承できる体制整備する」としており、現状のとおりとします。御意見は各課に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
43			<ul style="list-style-type: none"> ・石樽トンネルが開通し、国道421号線は中京圏からの行き来も便利になった。永源寺ダム左岸の拡幅工事がここ数年のうちに完了し、また中小路町に計画されている大型の量販店の開店も併せれば、さらに国道421号線の利用は拡大され、道の駅奥永源寺溪流の里は集客も見込める。しかし、このままでは他の地区はただの通過点になってしまう。 <p>同じような境遇にあったのが隣の三重県多気町であり永源寺と同じく山間部に位置する。若い世代の都市への流出や地域経済の活性化が重要な課題となっており、その課題解決へ向け大胆なプロジェクトが発足され、令和2年7月に大型の複合施設（約119ha）がオープンしている。もちろん施設は地域林業の発展も目的とされ地域産材がふんだんに使用されており、山・里・海の食材から宿泊施設等あらゆるものが揃っており相当数の雇用を生み出している。実際に行ってみるとその広大さに圧巻させられ、今後も発展中の施設であることが分かる。来場者は関西圏、中京圏が多い。</p> <p>ここまでの施設とは言わないが、この滋賀と三重をつなぐ国道421号線を最大限活用し、この永源寺管内にこのような施設があれば、自然や景観に魅せられた人々が定着し雇用を生み出すことができ、農業・林業などの地域産業の発展にも繋がる。一度、市の企画課の方々にも視察に行き、将来“<u>関西の軽井沢・清里</u>”といわれるような地に発展することを願いたい。</p>	<p>御意見は各課に共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

番号	ページ	行番号	意見等	対応
			<p>そもそも私は若いときから林業関係への就職を望んでいた訳ではない。趣味で山の方へ遊びに行くことが多く色々なところで自然を目にしたり触れたりすることにより山に関わる仕事に興味を持ち始めた経緯がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅奥永源寺溪流の里は春から秋にかけては非常にお客さんが多いが冬季は非常に閑散としている。積雪時は石樽トンネル手前の広場（黄和田町地先の個人の所有地）で三重県側から来ている家族連れがソリ遊びや雪遊びをしているのを良く目にする。 <p>国道 421 号線を挟んだ道の駅奥永源寺溪流の里の向い側にある山は現在、植林され一見分かりにくいですが、一段上がれば緩斜面となり、ここを整備すれば小規模ではあるが“ちびっこゲレンデ”と活用でき、冬季の家族連れの集客にも繋がることできる。併せて国道の融雪装置の早期設置を働き掛けて頂きたい。</p>	